

保谷駅前 映像から「今」を考える

平成28年度文部科学省選定ドキュメンタリー 「世界でいちばん美しい村」

監督・撮影：石川 梵、ナレーター：倍賞千恵子 / 2016年 / 日本 / 1時間48分 / ドキュメンタリー

ネパール大地震で壊滅した村が悪戦苦闘しながら復興を果たそうとする姿を捉えたドキュメンタリー。ヒマラヤの大自然を舞台に繰り広げられるさまざまな人間模様を描く。

時 2月23日(日)14時

※13時半開場

場 保谷駅前公民館

対 市内在住・在勤・在学者優先

定 30人(申込順)

申 2月3日(月)10時から電話で
保谷駅前公民館へ



「抗い 記録作家 林えいだい」

監督：西嶋真司、朗読：田中 浜 / 2016年 / 日本 / 1時間40分 / 出演：林えいだい / ドキュメンタリー

上映終了後、西嶋真司監督の話を聞く会と交流会を行います。

「権力に棄てられた民、忘れられた民の姿を記録していくことが私の使命である」と語る林えいだいが、がんと闘いながら残したメッセージ。田中浜の朗読も圧巻。

時 2月11日(火・祝)

<映画上映>14時 ※13時半開場

<西嶋監督の話>16時~17時

場 保谷駅前公民館

対 16歳以上の市内在住・在勤・在学者

定 50人(申込順)

申 2月3日(月)10時から電話で保谷駅前公民館へ



「モアナ 南海の歓喜」

監督：ロバート・フラハティ、モニカ・フラハティ / 1926年 / アメリカ / 1時間38分 / モノクロ / ドキュメンタリー

南太平洋サモア。生命を豊かに育む海と、ヤシや緑が生い茂る美しい島。人々は伝統を守りお互いに助け合い生きていた。100年前の南の島の、ある家族の物語。

時 2月11日(火・祝)10時 ※9時半開場

場 保谷駅前公民館

対 16歳以上の市内在住・在勤・在学者

定 50人(申込順)

申 2月3日(月)10時から電話で
保谷駅前公民館へ



地域講座 「保谷駅前」 こぜ 替女唄が聞こえる

かつて毎年3月になると、大泉生まれの替女が、下保谷に弟子を連れて来ていたという記述が、保谷市史編纂委員会が編集した『下保谷の民俗』に記載されている。旧高橋家の母屋で替女唄と講話を聴きながら、下保谷の歴史を追体験してみよう。

時 3月5日(木)

① 11時~12時 ② 14時~15時

場 下保谷4丁目特別緑地保全地区(旧高橋家の母屋)

対 16歳以上の市内在住・在勤・在学者

定 各回ともに35人(申込順)

講 古関敦子(越後替女唄伝承者)

申 2月10日(月)10時から電話で保谷駅前公民館へ



公民館 市民企画事業

令和2年度公民館市民企画事業 第1回説明会

公民館市民企画事業は、市民に多様な学習機会を提供することを目的に、市内の自主グループが企画・運営する事業を、審査の上、自主グループと公民館の共催事業として実施するものです。講師料は公民館が負担します。

- 場 消費者センター分館
- 対 市内在住・在勤・在学の男性 16人(申込順)
- 講 高柳厚子(料理研究家)
- 内 ①アンコウの素揚げ ほか ②和風ロールキャベツ ほか ③イワシの香り焼き ほか
- 料 2千700円(資料代・材料費)
- 申 電話で左記へ

武蔵野の雑木林を探る

この制度を利用できるのは、その年度の説明会に参加した自主グループです。令和2年度公民館市民企画事業第1回説明会は、左記の日程で行う予定です。詳細は、3月1日号をご覧ください。

- 場 田無公民館
- 時 2月15日(土)14時~16時
- 場 田無公民館
- 定 60人(先着順)
- 講 椎名豊勝(日本樹木医学会東京都支部長)

多文化共生時代を生きる 中国満州文化と映画を楽しむ

中国(東北地方)の滅びゆく満州族のシャーマン文化の映画上映と伝承文化のトークです。

- 場 田無公民館
- 時 2月19日(水)14時~16時半
- 場 田無公民館
- 定 40人(先着順)

公民館における市民の歴史学習について

なぜ、何のために歴史に学ぶのでしょうか。日本近代史の教訓に学び、現代に生きるこの大切さをつかいがいましょう。

- 場 柳沢公民館
- 時 2月23日(日)13時半~16時
- 場 柳沢公民館
- 定 100人(先着順)
- 講 川村善一郎(日本近代史研究者)
- 料 100円(資料代)

災厄をまえに言葉は無力か ―福島原発事故から考える― 放射能測定を考える会・西東京 災厄に「言葉は無力なのか」

「あるいは何が出来るか」を問うかけ、無力感に抗う言葉が湧いてくるのを聞きます。

- 場 田無公民館
- 時 2月29日(土)14時~16時半
- 場 田無公民館
- 定 50人(先着順)
- 講 藤井貞和(詩人・国文学者)
- 料 300円(資料代・広報費)
- ※高校生以下無料
- ※子ども同伴可。遊び場スペース利用希望者は事前に要連絡。
- 〈4面へつづく〉

メールでの講座申込方法

アドレス：1面参照
件名：講座名
本文：氏名・電話番号・住所・年代
※後日確認メールを送ります。届かない場合はお手数ですが、電話でお問い合わせください。



映画



森島美音子(東町在住)

「ブロードバック・マウンテン」

監督：アン・リー、原作：アン・ブロー / 2005年 / アメリカ映画
初めて本作を映画館で観てから十四年経っていた。にもかかわらず、私の記憶には大きなスクリーンに映るブロードバック・マウンテンの雄大な景色がくっきりと残っている。青い空、白い雲、緑の山、白い羊、そしてカウボーイが二人。どこか懐かしさ、うっとりする景色。これほどの映像を撮るアン・リー監督のなんと素晴らしいことか。アン・ブロー原作のストーリーにも心が揺さぶられる。一言で表すと「同性愛者の物語」かもしれない。しかし私は、これは「愛する人に出会った青年たちの物語」だと言いたい。共に働く中で惹かれ合う二人の青年。自分が同性愛者であるとはカミングアウトできない社会。羊の放牧の仕事が終わりジャック(ジェイク・ギレンホール)と別れた後にインス(ヒース・レジャー)が建物の陰で囁くシーンでは、どうしようもない想いに胸が締め付けられる。私事だが、本作の劇場公開後すぐに念願の映画業界に転職し、しばらく身を置いた。今は子育てに専念しているが、この寄稿にあたりあの頃の映画への熱意を思い出し、少しだけ「自分らしさを取り戻せた気がした」。